



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄

主日勤務 執事 クラウ 佐久間恵子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250

E-mail: st-andrew.tko@nssk.org HP: www.st-andrew-tokyo.com

顕現後第4主日 (緑) 2026年2月1日

礼拝案内

† 午前7時30分 聖餐式
(午前7時25分 礼拝奉仕者の祈りの集い)
司式説教: 司祭 卓志雄
聖歌 507 358 228

† 午前9時15分
こどもとともにささげる礼拝
司式・お話: 司祭 卓志雄
聖歌 507 358 228

† 午前10時30分 聖餐式
(午前10時10分 礼拝奉仕者祈りの集い)
司式: 司祭 卓志雄

入堂聖歌 507
参入 1頁 (162頁)
清めの祈り 1頁 (162頁)
キリエ 3頁 (162頁)
大栄光の歌 4頁 (164頁)
特祷

み言葉

第一朗読 ミカ書 6章1-8節
詩編 第15編
第二朗読 コリントの信徒への手紙I 1章18-31節

福音書前聖歌 48
福音書 マタイによる福音書 5章1-12節
説教: 司祭 卓志雄
ニケヤ信経 9頁 (166頁)
代祷 (週報2面) 12頁 (168頁)

聖餐

平和の挨拶 15頁 (171頁)
奉献聖歌 358
奉献 15頁 (172頁)
感謝聖別 16頁 (172頁)
陪餐 24頁 (180頁)
陪餐聖歌 255
感謝 28頁 (182頁)
祝福 28頁 (183頁)
派遣
退堂聖歌 228

† 午後1時10分 昼の祈り
司式: 司祭 卓志雄
奏楽: コンテンポラリー奏楽チーム
聖歌 344 228 神の家族

† 午後5時 夕の礼拝
司式: 司祭 卓志雄 聖歌 369
詩 113, 122 サム上 1:20-28 ロマ 8:14-21

1分典礼 (礼拝Q&A) ㊟

【近くの教会に行った方がよいのか?

又は離れた所の方がよいのか?】

日本聖公会の法憲法規 (第60条) では、教会は地域に根ざした信仰共同体であり、信徒は原則として居住地に近い教会に属することが基本とされています。これは、礼拝や牧会、信仰生活を地域の共同体の中で共に担うためです。しかし、この考え方は、生活圏と地理的範囲が一致していた時代を前提としています。現代、とくに東京では交通網が発達し、生活圏や人間関係は必ずしも自宅周辺に限られません。そのため、礼拝や交わりを通して信仰が養われる教会に、少し離れていても通い続ける選択は現実的です。重要なのは距離ではなく、その教会と誠実な関係を結び、礼拝と奉仕に継続的に参与できるかどうかだと言えるでしょう。

本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 ^{すくぬし} 救い主イエス・キリストの ^{ことば} み言葉と ^{わざ} み業に
^{たよ} 頼り、^{ぜんこうかい} 全公会のため、^{せかい} また世界のために ^{いの} 祈りましょ

※ () 内の斜体は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会・全公会のため>

代祷者 ^{かみ} 神よ、^{しゅ} 主の ^{こうかい} 公会、ことに

[^{たくじうん} 聖アンデレ教会 (ステパノ ^{ひだかけいすけ} 卓志雄司祭、
^{さくまけいこ} クララ佐久間恵子執事、トマス ^{ひだかけいすけ} 日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、
教会に関わる諸団体、

[^{たかはしひろゆき} 東京教区 (フランシスコ・ザビエル ^{たかはしひろゆき} 高橋宏幸主
教)]

聖アンデレ主教座聖堂 (理事会、活動委員
会)、教区主教とすべての信徒・教役者、
教区会・常置委員会

[^{とうにっぽん} 東日本宣教協働区 (北海道・東北・北関東・東京
教区)]

被献日 (2月2日) にあたり、日本聖公会
婦人会、北関東教区婦人会、北関東教区婦
人会総会、各教会婦人会、教会に集うすべ
ての女性

[^{うへはらえいしう} 日本聖公会 (首座主教 ^{うへはらえいしう} ダビデ 上原榮正 主教)]

日本聖公会管区・教区・教会の婦人会活動
はじめ、さまざまな女性たちの働き、
日本の殉教者

[エルサレムおよび中東聖公会

(^{ほさむ・なうむ} ホサム・ナウム大主教)]

^{ざバデー} ザバデー ^{しゅマタイ} 聖マタイ教会

[全世界の聖公会]

英国聖公会

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

日本バプテスト同盟

^{つよ} を強めて、^こ み子の ^{わざ} み業を行わせてください。

すべての ^{せいしよく} 聖職と ^{しんと} 信徒、ことに私たちの主教

フランシスコ・ザビエル

を ^{みちび} 導き、^な み名を呼ぶ者を ^{しゅ} 主の ^{しんり} 真理と ^{あい} 愛のうちに
一致させ ^{ひびしゅ} 日々主の ^{えいこう} 栄光をこの世に ^{あらわ} 現す者となら
せてください

会衆 ^{しゅ} 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 ^{かみ} 神よ、すべての ^{くに} 国の ^{ひと} 人びと、ことに中東・
ウクライナなどの戦争・紛争の終結、世界の平和
と和解の実現のため、日本国と世界各国・地域の
人びと

ことにそれらの指導的立場の人びとに ^{ちえ} 知恵を ^{あた} 与えて
^{せいぎ} 正義と ^{へいわ} 平和の道に ^{みち} 導いてください ^{たが} 互いに ^{そんけい} 尊敬する
^{こころ} 心を与え、ともにすべての ^{ひと} 人の ^{さいわ} 幸いを ^{もと} 求めさせて
ください

会衆 ^{しゅ} 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 ^{かみ} 神よ、わたしたちと ^{かぞく} 家族、すべての ^{ゆうじん} 友人と
^{とな} 隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの
家族、友人、同僚、心にかけている人びと、聖ア
ンデレ教会に連なるすべての人びと、ボーイスカ
ウト東京港第14団、ガールスカウト東京都第138
団、入信を希望している人びと、洗礼、堅信、初
陪餐、結婚の準備をしている人びと、さまざまな
理由によって教会から離れている人びと、この地
域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の
問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと、
1月の代祷・信施奉献先となっている働き・団体、
ことに、「佐賀聖ルカ教会」伝道所の働き (九州
教区「佐賀聖ルカ教会」伝道所)、^{ぜんしやうえん} 全生園聖フ
ランシス聖エリザベツ礼拝堂 (聖フランシス聖エ
リザベツ礼拝堂)、タイチェンマイの HIV/AIDS
の方々・難民・移民の自立支援 (バンサーイター
ン共の会)、東京教区神学生 (教区会決議)
に ^{あた} 恵みを与え、ともに ^{しゅ} 主を知り、^し 主に ^{しゅ} 仕え、^{たが} 互い
に ^{あい} 愛することができるようになしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]

世界各地の震災の被災者、

世界各地の自然災害の被害のため困難な状況

ある人びと、住む場所を追われた人びと、

自由を奪われ拘束されている人びと、戦争や暴力、

犯罪や差別に苦しむ人びと

を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、

主の救いの喜びに導いてください

会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、それぞれが覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人

を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてください。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えられた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

「聖書朗読(旧約聖書、使徒書)」を分担しませんか ~ み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴らしい恵みです。ご自分の受洗や堅信の記念日、誕生日、結婚記念日、ご家族の逝去記念日などを迎える主日に是非ご奉仕ください。ご希望の方は、聖堂受付付近の表にお名前をご記入ください。よろしくお願いいたします。

<お知らせ>

- ◇ 本日 13 時 10 分から“昼の祈り”があります。どうぞご参加ください。
- ◇ 堅信受領者総会が 2 月 22 日主日聖餐式後に行われます。現在堅信受領者の方々には追って資料をお送りします。
- ◇ 今年の大斎始日は 2 月 18 日(水)です。昨年の「しゅろの十字架」を 2 月 15 日(日)までに教会にお持ちください。
- ◇ BSSAC の 2 月定例会が本日 13 時半より開かれます。
- ◇ 3 月 7 日(土)のコンサート“堀江真理子と仲間たち”のチケットは好評発売中です。どうぞ予定ください。
- ◇ 「礼拝奉仕に関するアンケート②のお願い」へのご協力をありがとうございました。次回は、4 月に「奉仕団体に関するアンケート③」を実施する予定です。聖歌隊、食グループ、BSSAC など、現在の礼拝やイベントを支えている奉仕団体(グループ)の活動内容をご紹介しますとともに、参加をご検討いただくためのアンケートとなります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。
- ◇ 聖アンデレ教会広報の YouTube チャンネル「今、福音に聴く」では、マタイによる福音書の最終回を配信しています。今回のメッセージは、当教会の卓志雄司祭がお届けします。次回はヨハネによる福音書を予定しておりますので、どうぞ今しばらくお待ちください。ご視聴は

<https://www.youtube.com/watch?v=ehwlo2BnVz0>

または下の QR コードからお願いいたします

聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。また、フェイスブックページから折々の教会の様子やお知らせをお伝えしています。右の QR コードからご覧ください。



広報チャンネル



Instagram



ホームページ



Facebook

本日・今週の予定

2月1日(日) 顕現後第4主日 (A年)

7時半 聖餐式

9時15分 こどもとともにささげる礼拝

10時半 聖餐式

13時10分 昼の祈り

17時 夕の礼拝

- ・愛餐会・和室障子張り替え
- ・13時半 BSSAC 定例会 ・14時 聖歌隊練習
- ・15時 オルター打ち合わせ

2日(月) 主の奉献の日(被献日) 7時半礼拝

マラ 3:1-4 詩 51:15-19 ヘブ 2:14-18 ルカ 2:22-40

3日(火) 7時半礼拝

サム下 18:9-10,14,24-25,30-19:3 詩 86:1-6

マコ 5:21-43

- ・10時 英会話クラス

4日(水) サム下 24:2,9-17 詩 32:1-8 マコ 6:1-6

- ・10時半 聖アンデレ教会 2月逝去者記念聖餐式
聖歌: 396, 119, 349
- ・13時半 聖書に学ぶ会 ・19時 礼拝小委員会

5日(木) 7時半礼拝 高橋主教

王上 2:1-4,10-12 詩 145:1-5 マコ 6:7-13

卓司祭在室(午前)

- ・13時 一の会

6日(金) 7時半礼拝

シラ 47:2-11 詩 18:30-35,49-50 マコ 6:14-29

7日(土) 7時半礼拝

王上 3:4-13 詩 119:9-16 マコ 6:30-34

- ・10時 洗礼の学び

8日(日) 顕現後第5主日 (A年)

7時半 聖餐式

9時15分 こどもとともにささげる礼拝

10時半 聖餐式(み言葉と陪餐)

聖歌 12, 483, 506, 245, 476

イザ 58:1-9a 詩 112:1-9

I コリ 2:1-12 マタ 5:13-20

17時 夕の礼拝 聖歌 118

詩 34 イザ 57:14-21 II テモ 2:14-21

今週のメッセージ

顕現が、イエスという「光」がこの世に現れた出来事であるとするならば、山上の説教は、その光を受けた弟子たちが、どのように「世の光」として生きるべきかを示す教えます。

主の顕現が「イエスとは誰であるか」という問いへの答えであるのに対し、山上の説教は「そのイエスを信じる者たちは、いかに生きるべきか」という問いに対する具体的な指針を与えます。

すなわち、顕現節において山上の説教が福音書として読まれるのは、キリストの自己啓示と、それに応答する信仰者の生の在り方とを結びつける意義を持つからです。

諸聖徒日の福音書でもあり、今日の福音書箇所でもあるマタイによる福音書 5章は、山上の説教における「幸いの宣言」です。その中でイエスは、「悲しむ人々は幸いである。その人たちは慰められる」と語られました。

しかし、悲しみや苦しみを幸いだと感じる人は多くありません。愛する家族や友人、信仰の仲間との死別、誰にとっても深い悲しみをもたらします。私たちは、彼らが主のもとで安らかに憩っていることを信じてつても、天国で再会するまで会えない別れに涙します。悲しいと感じるのは、ごく自然なことです。そのような私たちに向けて、イエスはこの言葉を語られました。

この言葉を記したマタイが福音書を書いた時代、エルサレムはローマ帝国によって破壊され、キリストを信じることは命を懸ける行為でした。信仰を守るために迫害され、殉教する人々が多くいました。仲間の死を目の当たりにし、深い悲しみの中にあったマタイは、イエスから聞いたこの言葉を、信仰の仲間への慰めとして書き記したのです。

新約聖書はもともとギリシャ語で書かれており、ここで言う「悲しみ」は、大切な人を失った喪失の悲しみを指します。また「慰められる」とは、「神によって慰められる」という意味で、神がその人のそばに立ち、声をかけてくださることを表しています。

神は、悲しみや悲しみの中にある人のそばにおられ、「あなたは慰められる。悲しみを乗り越える力と、新たな道を歩む勇気が与えられる」と語りかけてくださいます。また、涙をぬぐい、力のないときには肩を貸してくださる、心強い友でもあります。悲しみの中にある私たちは、礼拝と祈りを通して、その神の声に耳を傾けていきましょう。神の声は確かに私たちに届き、慰めを与え、やがて悲しみを喜びへと変え、人生を支える大きな力となるでしょう。

(司祭 卓 志雄)